

芸術文化

1 芸術・文化振興

○主な事業

① 第42回大分市民音楽祭

平素から音楽活動を行っている団体に発表と鑑賞の機会を提供し潤いと安らぎのある市民生活を実現するために大分市民音楽祭を開催する。

実施日 平成29年2月19日(日)

場所 ホルトホール大分 大ホール

昨年度実績

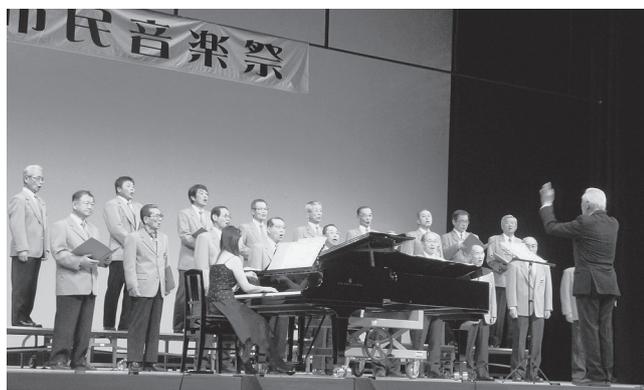
実施日 平成28年2月21日(日)

場所 ホルトホール大分 大ホール

出演団体数 18団体

出演者数 343人

入場者数 833人



大分市民音楽祭

② 第23回大分市芸能まわり舞台

芸能活動に取り組む市民に、発表と鑑賞の機会を提供することにより、伝統文化を継承し多様で豊かな文化を創造する市民の育成をめざすとともに参加団体相互の情報交換と親睦を図る。

実施日 平成29年2月5日(日)

場所 ホルトホール大分 大ホール

昨年度実績

実施日 平成28年2月7日(日)

場所 ホルトホール大分 大ホール

出演団体数 10団体・子ども舞台

入場者数 2,091人



芸能まわり舞台

③ 第51回大分市美術展

美術の各分野における市民の創作活動を促進し、発表と鑑賞の機会を提供することによって、多様で豊かな文化を創造する市民の育成をめざす。

会期 平成29年3月3日(金)～3月26日(日)

場所 大分市美術館

昨年度(27年度)実績

会期 平成28年3月4日(金)～3月27日(日)

場所 大分市美術館

出品数 531点



市美展

2 文化財

(1) 平成27年度文化財主要事業

文化財は、郷土の先人たちが営々として築き上げ、また守り育ててきた貴重な文化遺産である。私たちは身近な郷土の文化財をとおして、先人たちのすぐれた生きざまを学びとり、あるいは環境のたくみな利用法に接して、私たちの生活文化をより豊かなものにすることができる。その保護・保存と活用は、先人への敬愛の念と自然への畏敬の態度を養う原点でもあり、そしてこれの子孫への継承は、私たちの負うべき責務の一つでもある。

本市では、文化財保護法の主旨にのっとり、文化財の保護・保存と活用を図るために調査・保存・指定・管理・公開等の事業を推進しながら「文化財を活かした」都市づくりを展開している。

① 埋蔵文化財発掘調査

駅周辺総合整備事業、区画整理事業、宅地造成事業など公共・民間の各種開発等にもなう事前審査や発掘調査を実施。遺跡の確認、記録保存、現状保存等の措置を講じている。

埋蔵文化財にかかる、平成27年度の調査成果は次の表のとおりである。

| | 遺跡名・回数 | 時代 |
|----|---------------|-------|
| 1 | 大友氏遺跡第33次 | 戦国時代 |
| 2 | 中世大友府内町跡第111次 | 戦国時代 |
| 3 | 中世大友府内町跡第112次 | 戦国時代 |
| 4 | 中世大友府内町跡第113次 | 戦国時代 |
| 5 | 中世大友府内町跡第118次 | 戦国時代 |
| 6 | 中世大友府内町跡第114次 | 戦国時代 |
| 7 | 中世大友府内町跡第116次 | 戦国時代 |
| 8 | 横尾遺跡第153次 | 中世～近世 |
| 9 | 横尾遺跡第154次 | 中世～近世 |
| 10 | 勢家遺跡第3次 | 縄文～中世 |
| 11 | 玉沢地区条里跡第22次 | 古代 |
| 12 | 中世大友府内町跡第117次 | 戦国時代 |
| 13 | 城原・里遺跡第17次 | 中世～近世 |
| 14 | 米竹遺跡第12次 | 近世 |
| 15 | 丹生川坂ノ市条里跡第14次 | 弥生時代 |
| 16 | 中世大友府内町跡第115次 | 戦国時代 |

② 文化財保存整備事業

ア 文化財保存修理事業

(ア) 史跡大友氏遺跡整備基本計画

「大友氏遺跡整備基本計画（素案）」をもとに、大友氏遺跡公園事業に関する市民アンケート、整備基本計画の内容に関するパブリックコメント・市民意見交換会を実施し、「大友氏遺跡整備基本計画」を策定した。

(イ) 国指定史跡「大分元町石仏」保存整備事業
事業者 大分市
大分元町石仏環境調査および塩類風化対策を、石仏覆屋改修工事を実施した。

(ウ) 国指定重要文化財柞原八幡宮
保存活用計画策定事業
事業者 宗教法人 柞原八幡宮
保存活用計画策定を実施した。

イ 文化財の指定（平成27年度）

(ア) 大友氏遺跡追加指定
御蔵場の一部を追加指定した。

(イ) 県指定有形文化財
・「猪野遺跡出土銅矛」
所有者 大分市
平成28年2月23日指定



猪野遺跡出土銅矛

・「木造釈迦如来坐像」
所有者 宗教法人 長興寺
平成28年2月23日指定



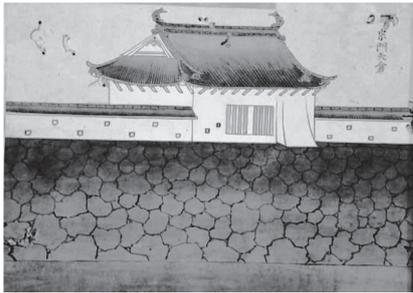
木造釈迦如来坐像

(ウ) 市指定有形文化財
・「木造釈迦如来坐像」
所有者 臨濟寺
平成27年7月3日指定



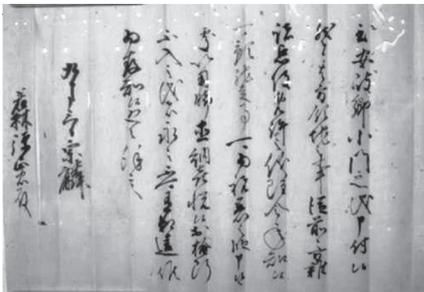
木造釈迦如来坐像

- ・「松栄神社所蔵絵図」
所有者 宗教法人 松栄神社
平成27年12月25日指定



松栄神社所蔵絵図「府内城諸櫓門図帖」

- ・「合澤家所蔵文書」
個人所蔵
平成27年12月25日指定



合澤家所蔵文書「大友宗麟書状」

④ 文化財愛護活動

郷土の文化財に愛着をもち、研さんを深めながら保護、継承等に努力し、地域づくりへの貢献を目的としている以下の各団体に指導・助成を行っている。

| 団 体 名 | | | |
|-------|--|------|------------|
| 愛護少年団 | 丑 殿 常 行 国 分 宮 苑 森 岡 本 神 崎 | 愛護団体 | 大在地区文化財同好会 |
| | 坂ノ市地区郷土史愛好会 | | |
| | 大南地区文化財同好会 | | |
| | 鶴崎地区文化財研究会 | | |
| | | | |

(2) 各種委員会の開催

① 大分市文化財保護審議会

大分市文化財保護審議会条例により設置。文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査、審議することを目的とする。年2回開催。

平成27年度は、文化財行政の報告および計画、市指定文化財の指定基準および指定について審議した。

② 高崎山管理委員会

国指定天然記念物「高崎山の猿生息地」の適正管理を行い、高崎山全体により適正な保存管理運

営を行なうことを目的とする。

平成27年度は、高崎山ニホンザル個体数適正化事業について協議した。

③ 大分元町石仏調査委員会

2回の調査委員会を開催し、石仏保存整備の手法等について協議を行った。

④ 史跡大友氏遺跡整備基本計画検討委員会

2回の検討委員会を開催し、整備基本計画の策定について協議した。

⑤ おおいた地域伝統文化応援事業選考委員会

大分市内に守り伝えられてきた伝統文化の継承・再興及び発展を通じ、世代間の交流の増進や地域の活性化を図ることを目的とする。

平成27年度は、5月29日（金）に選考委員会を開催、7団体に助成を行なった。

(3) 普及・愛護の啓発活動

① 大友氏遺跡情報発信事業

ア 「大友宗麟公」副読本活用

大友宗麟公の副読本を市内の小学校（60校）配布。6年生社会科で副読本を活用を実施し、郷土大分の歴史に関する学習を実施した。

イ シンポジウム「おおいたのキリシタン・南蛮文化遺産活用・発信プロジェクト」

県内7市町で取り組んできた3年間のプロジェクト成果を総括するシンポジウムを開催した。平成28年1月23日（土）開催。

ウ 「大友氏遺跡フェスタ2015」

大友氏遺跡の現地説明会と市民対象のセミナーの実施、生活文化展での体験ブースを開設した。

平成28年10月3日・10日・11日開催。

② 文化財防火デー

昭和24年1月26日に法隆寺金堂壁画が焼損したため、この日を文化財防火デーと定め、文化財防火訓練を展開し、文化財愛護思想の高揚を図る。

平成27年度は、平成28年1月26日（火）に国指定重要文化財柞原八幡宮にて、地元自治会の協力を得て、大分中央消防署と共同で通報訓練、避難誘導訓練、初期消火訓練、放水訓練を行った。



文化財防火訓練「柞原八幡宮」

(4) 収蔵・公開施設

| | | | | | | | |
|-----|--|-----|--------|-----|------|-----|--------|
| 施設名 | 毛利空桑遺品館 | | | | | | |
| 所在地 | 〒870-0101 大分市鶴崎381番地の1 | | | | | | |
| 電 話 | 097-521-4893 | | | | | | |
| 休館日 | 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 但し毎月第1月曜日は開館し翌日休館 年末年始（12/28～1/4） | | | | | | |
| 概 要 | <p>鶴崎在住の肥後藩士。儒者、教育家として家塾知来館・郷校成美館などで子弟を教育し、また勤皇家としても活動した毛利空桑の偉業をしのぶため、彼の遺品を収蔵、展示したものである。居宅天勝堂と知来館に隣接する。昭和60年改築。</p> <p style="text-align: center;">平成27年度入館者数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>大 人</td> <td>5,713人</td> </tr> <tr> <td>小 人</td> <td>355人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>6,068人</td> </tr> </table> | 大 人 | 5,713人 | 小 人 | 355人 | 合 計 | 6,068人 |
| 大 人 | 5,713人 | | | | | | |
| 小 人 | 355人 | | | | | | |
| 合 計 | 6,068人 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----|---|-----|--------|-----|--------|-----|--------|
| 施設名 | 池見家住宅 | | | | | | |
| 所在地 | 〒870-0315 大分市大字佐野 佐野植物公園内 | | | | | | |
| 電 話 | なし（問合せは文化財課へ） | | | | | | |
| 休館日 | 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 年末年始（12/28～1/3） | | | | | | |
| 概 要 | <p>江戸時代、原村・久土村を統轄する臼杵藩丹生原組の庄屋を勤めた池見家の邸宅で、市内では最古の民家として歴史的な価値を持つものであり、また、普通の民家とは違って庄屋住宅としての構造をよく伝えた建物で、建築史の上からも注目される。平成3年佐野植物公園内に移築復元。</p> <p style="text-align: center;">平成27年度入館者数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>大 人</td> <td>5,395人</td> </tr> <tr> <td>小 人</td> <td>2,824人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>8,219人</td> </tr> </table> | 大 人 | 5,395人 | 小 人 | 2,824人 | 合 計 | 8,219人 |
| 大 人 | 5,395人 | | | | | | |
| 小 人 | 2,824人 | | | | | | |
| 合 計 | 8,219人 | | | | | | |

| | |
|-----|--|
| 施設名 | 海部古墳資料館 |
| 所在地 | 〒870-0303 大分市大字里646番地の1 |
| 電 話 | 097-524-2300 FAX 097-524-2301 |
| 休館日 | 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 但し毎月第1月曜日は開館し翌日休館 年末年始（12/28～1/4） |

| | | | | | | | |
|-----|--|-----|--------|-----|---------|-----|---------|
| 概 要 | <p>国指定史跡「亀塚古墳」のガイダンス施設として広く古墳文化を案内する施設。展示室には、実物資料や複製品のほか、大型ジオラマ、市内の古墳復元模型を展示し、楽しみながら学べる資料館です。平成12年4月開館。</p> <p style="text-align: center;">平成26年度入館者数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>団 体</td> <td>4,161人</td> </tr> <tr> <td>個 人</td> <td>12,694人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>16,855人</td> </tr> </table> | 団 体 | 4,161人 | 個 人 | 12,694人 | 合 計 | 16,855人 |
| 団 体 | 4,161人 | | | | | | |
| 個 人 | 12,694人 | | | | | | |
| 合 計 | 16,855人 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----|--|-----|--------|-----|--------|-----|---------|
| 施設名 | 大友氏遺跡体験学習館 | | | | | | |
| 所在地 | 〒870-0843 大分市大字大分4257番地の1 | | | | | | |
| 電 話 | 097-544-5011 FAX 097-544-5011 | | | | | | |
| 休館日 | 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 但し毎月第1月曜日は開館し翌日休館 祝日の翌日（土・日曜日の場合開館） 年末年始（12/28～1/4） | | | | | | |
| 概 要 | <p>国指定史跡「大友氏遺跡」の内容と発掘調査への理解を深めてもらうために、設置した施設。調べ学習の資料や、体験学習のメニューを揃え、研修室では、40名が活動を行える。平成20年4月開館。</p> <p style="text-align: center;">平成27年度入館者数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>団 体</td> <td>9,017人</td> </tr> <tr> <td>個 人</td> <td>2,840人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>11,857人</td> </tr> </table> | 団 体 | 9,017人 | 個 人 | 2,840人 | 合 計 | 11,857人 |
| 団 体 | 9,017人 | | | | | | |
| 個 人 | 2,840人 | | | | | | |
| 合 計 | 11,857人 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----|---|-----|--------|-----|--------|-----|--------|
| 施設名 | 帆足本家酒造蔵 | | | | | | |
| 所在地 | 〒879-7761 大分市大字中戸次4381番地の1 | | | | | | |
| 電 話 | 097-597-4649 FAX 097-597-4649 | | | | | | |
| 休館日 | 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 年末年始（12/28～1/4） | | | | | | |
| 概 要 | <p>江戸時代に日向街道沿いの「在町」として栄えた戸次本町の中心に位置しており、江戸時代の酒造工程を今に伝える蔵やその中に酒造用具が展示されている。（大分市指定文化財）</p> <p style="text-align: center;">平成27年度入館者数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>団 体</td> <td>1,275人</td> </tr> <tr> <td>個 人</td> <td>4,125人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>5,400人</td> </tr> </table> | 団 体 | 1,275人 | 個 人 | 4,125人 | 合 計 | 5,400人 |
| 団 体 | 1,275人 | | | | | | |
| 個 人 | 4,125人 | | | | | | |
| 合 計 | 5,400人 | | | | | | |

文 化 財

(5) 指定・選択文化財

平成28年4月1日現在

① 国指定

ア 重要文化財

| 名称または物件 | 所在地 | 所有者または管理団体 | 指定年月日 | 摘 要 | 参 考 |
|-------------------------|-----|------------|----------|--|-----------------|
| 太 刀 八 幡 | 八 幡 | 柞原八幡宮 | 昭25.8.29 | 銘 国宗 長さ 75.8cm | 鎌倉時代 |
| 太 刀 | 〃 | 〃 | 〃 | 銘 源国(以下一字並年号不明) 長さ 108cm | 〃 |
| 薙 刀 直 し 刀 | 〃 | 〃 | 〃 | 銘 表「国重八幡大菩薩」裏「天満大自在天神」 | 鎌倉時代末期～南北朝時代 |
| 銅 造 仏 像 | 〃 | 〃 | 〃 | 社伝 阿弥陀如来立像金剛仏 重さ11.25kg 像高30.3cm | 白鳳時代 |
| 木造普賢延命菩薩坐像 | 〃 | 大 山 寺 | 昭50.6.12 | 榿材 像高 87.7cm | 平安時代 |
| 後 藤 家 住 宅 | 杵ヶ原 | 個人所有 | 昭50.6.23 | 18世紀中頃の庄屋の母屋 寄棟造り 茅葺 | 江戸時代 |
| 白壇塗 浅葱系威腹巻付 兜・大袖・小具足 | 八 幡 | 柞原八幡宮 | 昭55.6.6 | 胴高 32.3cm 草摺高 28.5cm 兜鉢高 18.0cm | 室町時代末期 |
| 木造大日如来坐像 | 上野丘 | 金剛宝戒寺 | 平3.6.21 | 文保2(1318)康俊作 榿材寄木造 像高 303.8cm | 鎌倉時代 |
| 柞原八幡宮文書 | 八 幡 | 柞原八幡宮 | 〃 | 柞原宮領関係史料(213通) 元和7年 | 平安・鎌倉・南北朝・室町・江戸 |
| 帆 足 家 伝 来 田能村竹田関係資料 | 美術館 | 大 分 市 | 平6.6.28 | 紙本墨画淡彩花卉図外25点 | 江戸時代 |
| 柞原八幡宮 | 八 幡 | 柞原八幡宮 | 平23.6.20 | 本殿・東宝殿・西宝殿・申殿・拝殿・楼門・東回廊・西回廊・西門・南大門の10棟 | 江戸～明治 |

イ 史跡

| | | | | | |
|-------------|-----|---------|----------|--|------------|
| 豊 後 国 分 寺 跡 | 国 分 | 大 分 市 | 昭8.2.28 | 国分僧寺 追加指定(昭58.9.8 昭61.5.28) | 奈良時代 |
| 大 分 元 町 石 仏 | 元 町 | 〃 | 昭9.1.22 | 日羅または仁間の作と伝えられる 保存修理 昭46, 52, 53, 61年以降 | 平安時代 |
| 高 瀬 石 仏 | 高 瀬 | 〃 | 〃 | 石窟を彫り込み奥壁に東を向いて彫られる | 平安～鎌倉時代 |
| 千 代 丸 古 墳 | 宮 苑 | 〃 | 昭9.5.1 | 装飾古墳 横穴式石室 | 古墳時代後期 |
| 築 山 古 墳 | 本神崎 | 八 幡 神 社 | 昭11.9.3 | 前方後円墳 箱式石棺 | 古墳時代中期 |
| 古 宮 古 墳 | 三 芳 | 大 分 市 | 昭58.5.11 | 石棺式石室墳 九州では他に例なし | 終末期古墳(7世紀) |
| 亀 塚 古 墳 | 里 | 〃 | 平8.3.28 | 前方後円墳 全長約116m | 古墳時代中期 |
| 大 友 氏 館 跡 | 頭 徳 | 〃 | 平13.8.13 | 九州六国を支配した大友宗麟を全盛期とする戦国大名・大友氏の拠点方二町(200m四方) | 戦国時代 |
| 横 尾 貝 塚 | 横 尾 | 〃 | 平21.2.12 | 縄文時代の集落の移り変わりが復元できる。縄文時代からの地形と自然がよく残されている。 | 縄文時代 |

ウ 天然記念物

| | | | | | |
|-----------|-----|--------|-----------|-----------------------|---------|
| 柞原八幡宮のクス | 八 幡 | 柞原八幡宮 | 大11.3.8 | 自生のクス 樹高約30m 幹囲約18.5m | |
| 高崎山のサル生息地 | 神 崎 | 大 分 市 | 昭28.11.14 | 都市近郊における日本猿の自然的集団 | |
| オオサンショウウオ | 神 崎 | (株)マリス | 昭27.3.29 | 広島市安佐動物公園より譲渡 | 特別天然記念物 |

エ 無形民俗文化財(選択)

| | | | | | |
|-------|-----|--------|-----------|---------------------|--|
| 鶴 崎 踊 | 鶴 崎 | 鶴崎おどり会 | 昭61.12.17 | 記録保存の措置を講ずべきものとして選択 | |
|-------|-----|--------|-----------|---------------------|--|

オ 登録文化財

| | | | | | |
|---------------------------|-----|---------|-----------|--|-------------|
| 大分銀行赤レンガ館(旧二十三銀行本店・旧府内会館) | 府内町 | (株)大分銀行 | 平8.12.20 | 鉄筋コンクリート造2階建 スレート及び瓦葺 | 大正2年(1913) |
| 太田缶詰工場主屋 | 白 木 | 個人所有 | 平11.6.7 | 木造2階建 寄棟造 洋風の玄関特徴 接客用座敷や和室の居住部分と工場事務室併設 | 明治39年(1908) |
| 太田缶詰工場土蔵 | 〃 | 〃 | 平11.6.7 | 切妻造の2階建て 外壁漆喰仕上げ | 〃 |
| 太田缶詰工場石倉 | 〃 | 〃 | 平11.6.7 | 外壁周りを石造 軒周り漆喰仕上げ 正面左右に2つ出入口があるのが特徴 | 大正期 |
| 荻本家住宅主屋 | 坂ノ市 | 個人所有 | 平17.7.12 | 木造平屋建一部二階建 瓦葺 建築面積244㎡ | 江戸末期 |
| 帆足家分家住宅 「松石不老館」主屋 | 中戸次 | 個人所有 | 平17.11.10 | 入母屋造、棧瓦葺、木造2階建 通り土間をもつ商家建築の形式 | 明治39年(1908) |
| 帆足家分家住宅 「松石不老館」新座敷 | 〃 | 〃 | 〃 | 寄棟造、棧瓦葺、木造平屋建 南側に広縁をとり中庭を望む 門及び塀は棧瓦屋根 | 明治中期 |
| 帆足家分家住宅 「松石不老館」道具蔵 | 〃 | 〃 | 〃 | 切妻造、棧瓦葺、土蔵造2階建 切石積みの上に建つ海風壁 | 〃 |
| 帆足家分家住宅 「松石不老館」質蔵 | 〃 | 〃 | 〃 | 切妻造、棧瓦葺、土蔵造2階建 切石積みの上に建つ海風壁 棧瓦屋根の板塀及び門 | 〃 |
| 帆足家分家住宅 「松石不老館」湯殿及び風呂 | 〃 | 〃 | 〃 | 湯殿を南北棟、風呂を東西棟とし、両棟が接して建つ寄棟及び入母屋の屋根、共に棧瓦葺 | 〃 |
| 帆足家分家住宅 「松石不老館」井戸上屋 | 〃 | 〃 | 〃 | 切石積みの基壇の上に四方に柱を立て、切妻造、棧瓦葺 切石を長方形の井桁に組む | 〃 |

| 名称または物件 | 所在地 | 所有者または管理団体 | 指定年月日 | 摘 要 | 参 考 |
|---------------------|------|------------|-----------|--|---------------------|
| 帆「足家分家住宅蔵」松石不老館」家穀物 | 中戸次 | 個人所有 | 平17.11.10 | 切妻造、棧瓦葺、土蔵造2階建 引戸口2箇所 全長に吹き放ちの下屋 切石積みの上に建つ | 明治22年 |
| 帆「足家分家住宅蔵」松石不老館」味噌 | ” | ” | ” | 切妻造、棧瓦葺、木造平屋建 下屋北側2間半分を壁で囲む 切石積みの上に建つ | ” |
| 帆「足家分家住宅蔵」松石不老館」裏二階 | ” | ” | ” | 寄棟棧瓦葺木造2階建裏木戸中央に1間幅の観音開きの木戸口 | 明治中期 |
| 帆「足家分家住宅蔵」松石不老館」家住 | ” | ” | ” | 間口は2.7m、棟門の形式棧瓦葺、木造両脇に塀を続け、門脇に潜戸を設ける | ” |
| 帆「足家分家住宅蔵」松石不老館」家住 | ” | ” | ” | 切石積みの上に建ち、腰を下見板張り、上部を真壁造、漆喰塗り2箇所格子窓、棧瓦葺屋根 | ” |
| 帆「足家本家住宅蔵」富家春本館」家主 | 中戸次 | 個人所有 | 平18.11.29 | 木造2階建 一部平屋 入母屋造 棧瓦葺 南側中央式台玄関を設け 西側に一段高い座敷 | 慶応元年(1865年) |
| 帆「足家本家住宅蔵」富家春本館」家宝 | ” | ” | ” | 土蔵造二階建 切妻造 棧瓦葺 一階2室二階1室外壁漆喰ぬり腰を海鼠壁 | 大正期 |
| 帆「足家本家住宅蔵」富家春本館」家住 | ” | ” | ” | 土蔵造二階建 切妻造 棧瓦葺 一階2室二階1室外壁漆喰ぬり腰を海鼠壁 | 大正5年頃 |
| 帆「足家本家住宅蔵」富家春本館」家住 | ” | ” | ” | 木造2階建 寄棟造棧瓦葺 南側に洋室 東側に店舗を付属 モルタル壁 石造風 | 大正5年(1916) |
| 帆「足家本家住宅蔵」富家春本館」家住 | ” | ” | ” | 木造平屋建 寄棟造 棧瓦葺 南側に廊下 北側中央に八畳座敷 書院風のつくり | 昭和12年(1937) |
| 帆「足家本家住宅蔵」富家春本館」家住 | ” | ” | ” | 質蔵と洋館の間に建つ 二間幅の棟門 木造 切妻造 棧瓦葺 両脇に袖塀 | 江戸末期 |
| 帆「足家本家住宅蔵」富家春本館」家住 | ” | ” | ” | 主屋式台玄関の西側 間口一間 木造腕木門 切妻造 棧瓦葺 両脇に袖壁 | 江戸末期 |
| 帆「足家本家住宅蔵」富家春本館」家住 | ” | ” | ” | 主屋南側の庭の南側と西側を開き、質蔵北西隅から宝蔵南まで延びる。南東隅に腕木門 | 大正期 |
| 浄土寺本堂 | 王子西町 | 浄土寺 | 平20.10.23 | 木造平屋建 入母屋造 本瓦葺 大規模な七間堂 | 嘉永2(1849) |
| 浄土寺庫裏 | ” | ” | ” | 木造2階建寄棟造妻入棧瓦葺 床つきの座敷・奥座敷 | 江戸後期・末期改修 |
| 浄土寺玄関及び渡廊下 | ” | ” | ” | 木造平屋建 本堂と庫裏を繋ぐ 入母屋屋根の玄関 | 江戸末期 |
| 浄土寺大弁才天石宮 | ” | ” | ” | 石造 庫裏の西北 庭園内に建つ 一間社流造 | 明治44年(1911) |
| 浄土寺一伯公廟 | ” | ” | ” | 木造平屋建 入母屋造妻入棧瓦葺 松平忠直の墓碑を安置する | 江戸後期 大正14・昭和49移築 |
| 浄土寺表門 | ” | ” | ” | 木造 左右袖塀付 本堂正面に建つ四脚門 | 明治後期 昭和26改修49移築 |
| 浄土寺北門 | ” | ” | ” | 木造 瓦葺 柱上に皿斗を置き、その上に台輪をまわす | 大正14年(1925) 昭和49年移築 |
| 植木家住宅主屋 | 王子中町 | 個人所有 | 平22.5.20 | 木造2階建入母屋造 1階に出格子彫刻入持送り 市内中心部に残る数少ない商家 | 安政元年(1854)頃 |
| 植木家住宅離れ | ” | ” | ” | 入母屋造棧瓦葺 床・違棚・書院を構え意匠に凝る | 昭和4年(1929) |
| 植木家住宅離れ控えの間 | ” | ” | ” | 庇の意匠が数寄屋風 渡り廊下が付随する | 昭和4年(1929) |

② 県指定

ア 有形文化財

| | | | | | |
|--------------------|-----------|-------|----------|---------------------------------------|----------------|
| 柞原八幡宮文書附絵図 | 八 幡 | 柞原八幡宮 | 昭35.3.22 | 絵図のみ | 江戸時代 |
| 八幡宇佐宮御託宣集附裏書 | ” | ” | ” | 宇佐神宮に関する記録16巻と裏書2からなる 文明2年(1470) | 室町時代 |
| 詫摩文書 | 大分市歴史資料館 | 個人所有 | ” | 合計11巻 286点の文書 嘉応元年(1169)～慶長16年(1611) | 平安時代末期～江戸時代初期 |
| 都甲文書 | 大分県立先哲史料館 | 個人所有 | ” | 合計4巻 90通 | 平安～江戸時代 |
| 刀 | 森 | 個人所有 | 昭43.3.29 | 豊州高田庄 藤原行長 慶長五年 | 戦国時代 |
| 刀 | 野津原 | 個人所有 | 昭40.3.9 | 銘 貞行 応永時代 | 室町時代前半 |
| 刀 | 府内町 | 個人所有 | 昭43.3.29 | 銘 平鎮教 長さ 81.6cm | 戦国時代(永禄年間) |
| 木造不動明王坐像 | 上野丘 | 金剛宝戒寺 | 昭44.3.22 | 檜材 寄木造 像高 86.3cm | 平安時代後期 |
| 木造不動明王立像 | 八 幡 | 柞原八幡宮 | 昭45.3.31 | ” ” 像高78.8cm | 鎌倉時代末期～南北朝時代初期 |
| 木造女神形坐像 | ” | ” | ” | 樟材 一木造 像高 39.5cm | 平安時代後期 |
| 木造菩薩形坐像 | ” | ” | ” | ” ” 像高46.6cm | ” |
| 木造祖師形坐像 | ” | ” | ” | ” ” 像高54.8cm | 平安時代末期 |
| 板彫多聞天立像 | ” | ” | ” | ” ” 像高78.4cm | 鎌倉時代 |
| 板彫不動明王立像 | ” | ” | ” | ” ” 像高76.9cm | ” |
| 紙本著色由原八幡宮縁起絵巻附極書二通 | ” | ” | ” | 絵 土佐光茂 詞 青蓮院宮尊鎮法親王 | 室町時代 |
| 紺紙金泥増老阿含経 | ” | ” | ” | 11紙 縦34cm、横64.2cm 文和4年(1355)に尼法忍により施入 | 平安時代末期 |
| 山水蒔絵縁起絵巻納箱 | ” | ” | ” | 銘 元和八年中川秀征(岡藩2代藩主)寄進 | 江戸時代初期 |
| 紙本著色厩図六曲屏風一双 | 上野丘 | 円 寿 寺 | 昭46.3.23 | 土佐派の画風春隻と秋隻(各)150.0×52.5cm | 江戸時代中期 |
| 絹本著色柿本人磨図 | ” | ” | ” | 土佐信実筆の墨書あり 縦34.5cm 横37.5cm | 鎌倉時代後期 |
| 刀 | 千代町 | 個人所有 | 昭49.3.19 | 銘 藤原統行 | ” |
| 太 刀 | 羽 屋 | 個人所有 | 昭51.3.30 | 銘 豊後国行平 (豊後刀の逸品である) | 鎌倉時代 |
| 安 藤 家 刀 | 横 尾 | 個人所有 | 昭54.5.15 | 銘 豊州高田住大和太刀藤原貞行 | ” |

文 化 財

| 名称または物件 | 所在地 | 所有者または管理団体 | 指定年月日 | 摘 要 | 参 考 |
|---------------------|----------------|------------|----------|---|--------------------|
| 中間石幢 | 志津留 | 共有 | 昭55.4.8 | 造立者の墨書銘あり 応永6年(1399)造立 | 室町時代 |
| 万年橋 | 寒田 | 西寒多神社 | 昭55.4.8 | 文久2年(1862)建造(西寒多神社境内) | 江戸時代 |
| 金剛宝戒寺木造 釈迦如来立像 | 上野丘 | 金剛宝戒寺 | 昭57.3.30 | 檜材 寄木造 像高161.6cm | 鎌倉時代 |
| 豊後国諸検地帳 | 大分県立 先哲史料館 | 大分県 | 〃 | 文禄2年(1593)7冊 他全82冊 平9年大分県立先哲資料館 | 安土桃山時代~江戸時代初期 |
| 太刀 | 坂ノ市 | 個人所有 | 昭63.3.15 | 「豊州之住人直宗作 応永十八年〇月十五日」銘 | 室町時代 |
| 木造聖徳太子立像 | 上野丘 | 金剛宝戒寺 | 平9.3.25 | 檜材 寄木造 像高68cm | 鎌倉時代後期~南北朝時代 |
| 刀 | 大道町 | 個人所有 | 平10.3.20 | 豊後国高田住藤原實行作 | 江戸時代 |
| 脇差 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 築山古墳出土品 | 本神崎 | 築山古墳保存会 | 平10.3.20 | 築山古墳出土品一括 | 古墳時代 |
| 絹本著色阿弥陀如来迎図 | 森町 | 専想寺 | 平11.3.23 | 1幅 | 室町時代 |
| 木造阿弥陀如来立像 | 〃 | 〃 | 〃 | 1軀 | 鎌倉時代 |
| 巴形銅器 | 埋蔵文化財 センター | 大分県 | 〃 | 考古資料 | 弥生時代 |
| 教尊寺(7棟) | 本神崎 | 教尊寺 | 平11.3.23 | 本堂・庫裡付玄関・書院・御殿・経蔵・鐘楼・山門 江戸期の伽藍構成 建物の大方が現存 | 江戸時代 |
| 刀 | 常行 | 個人所有 | 平13.4.3 | 銘 平長盛(豊後刀の作風強く残す) | 室町時代 |
| 刀 | 森町 | 個人所有 | 平13.4.3 | 銘文 平長盛 | 室町時代 |
| 木造聖観音菩薩坐像 | 八幡 | 大山寺 | 平14.3.29 | 樟材一木造 像高 273.5cm | 平安時代 |
| 木造十一面観音菩薩立像 | 永興 | 臨濟寺 | 〃 | 桧材 寄木造 像高 170cm | 〃 |
| 早吸日女神社総門 | 佐賀関 | 早吸日女神社 | 平16.3.30 | 切妻造 本瓦葺 | 江戸時代 |
| 早吸日女神社本殿 | 〃 | 〃 | 〃 | 三間社流造 檜皮葺 | 〃 |
| 早吸日女神社社家 (小野家住宅) | 〃 | 〃 | 〃 | 入母屋造 棧瓦葺 | 〃 |
| 長湯横穴墓出土 群第7号墓出土品 | 埋蔵文化財 センター | 大分県 | 平17.3.29 | 鹿角製刀装具装着鉄刀 他 計28点 | 古墳時代後期 |
| 木造地藏菩薩立像 (愛宕地藏) | 青石 | 妙蔵寺保存会 | 平17.3.30 | 像高81.5cm、材質檜、寄木造、彫眼、漆箔が施されている | 鎌倉時代 |
| 絹本著色涅槃図 | 上野丘 | 金剛宝戒寺 | 平18.3.31 | 縦212.3cm 横214.5cm | 鎌倉時代 |
| 木造聖徳太子二歳立像 | 勢家 | 法専寺 | 平18.3.31 | 桧材寄木造 玉眼 像高68.2cm | 鎌倉時代 |
| 銅造如来立像 | 上野丘 | 金剛宝戒寺 | 平19.3.30 | 総高16.3cm像高15.1cm銅鑄造製 鍍金あり | 飛鳥~白鳳 |
| 大志生木宝篋印塔 | 十谷 | 西岡神社 | 平21.3.17 | 應安六年癸丑六年(1373)の銘。「塔供養」と刻まれている。 | 南北朝時代 |
| 王ノ瀬石棺 | 大分市海部 古墳資料館 | 共有 | 平24.3.13 | 家形石棺 辻古墳の主体部が王ノ瀬石棺だった可能性が高い。 | 古墳時代中期 |
| 先哲史料館稲葉家文書 | 大分県立 先哲史料館 | 大分県 | 平26.2.14 | 白杉藩主稲葉家に伝えられた文書。 | 江戸時代 |
| 猪野遺跡出土銅矛 | 歴史資料館 | 大分市 | 平28.2.23 | 弥生中期末から後期初頭にかけて制作されたと思われる中広形銅矛。大分県下唯一の発掘調査による出土品。 | 弥生時代中期 |
| 木造釈迦如来坐像 | 松岡 | 長興寺 | 平28.2.23 | 鎌倉時代から南北朝時代にかけて、慶派仏師の作と考えられる。 | 鎌倉時代末期~ 南北朝時代初期 |

イ 史 跡

| | | | | | |
|----------------------|------|------|----------|---|-------------|
| 丑殿古墳 | 賀来 | 丑殿神社 | 昭30.5.28 | 横穴式石室 家形石棺 | 古墳時代後期 |
| 脇蘭室墓 | 鶴崎 | 大分市 | 昭32.3.26 | 墓碑 表面に高弟帆足萬里による「文教脇先生墓」の六字 | 江戸時代 |
| 楠木生石造五重塔 | 下戸次 | 個人所有 | 昭34.3.20 | 銘 延文五年(1360)庚子三月十七日 | 南北朝時代 |
| 府内城跡 | 大荷揚町 | 大分市 | 昭38.2.15 | 石垣、土堀、堀、櫓2、櫓跡1 | 江戸時代 |
| 曲石仏付双塔 (五輪塔)・磨崖連碑 | 曲 | 共有 | 昭41.3.23 | 磨崖仏 石窟内に丸彫りの像や陽刻の像が安置される | 平安時代末期~室町時代 |
| 口戸磨崖仏附磨崖五輪双塔 | 口戸 | 個人所有 | 昭44.3.22 | 宇佐八幡宮と関連ある磨崖仏 | 鎌倉時代末期~室町時代 |
| 毛利空桑旧宅及び塾跡 | 鶴崎 | 大分市 | 昭45.3.31 | 空桑私宅「天勝堂」塾「知来館」安政4年(1857)一緒に建設 遺品館に遺品陳列 | 江戸時代 |
| 岩屋寺石仏 | 古国府 | 円寿寺 | 〃 | 平安時代後期の作 | 平安時代~室町時代 |
| 参勤交代道路 | 今市 | 大分市 | 昭47.3.21 | 幅2.1m 長さ660mの石畳 | 江戸時代 |
| 蓬萊山古墳 | 庄ノ原 | 共有 | 昭56.3.31 | 前方後円墳 全長60m | 古墳時代前期 |
| 毛利空桑墓 | 常行 | 共有 | 昭62.6.29 | 墓碑「日本国儒者毛利到墓」と大書 陰刻 | 江戸時代 |
| 小牧山古墳群 | 松岡 | 大分市 | 平23.2.29 | 方墳3 円墳2 前方後円墳1 保存状態良好 | 古墳時代 |

ウ 無形民俗文化財(選択)

| | | | | | |
|-----------|----|--------------|----------|-------------------------------|--|
| 賀来神社卯酉の神事 | 賀来 | 共有 | 昭33.3.25 | 記録保存の措置を講ずべきものとして選択 「賀来の市」 | |
| 鶴崎踊 | 鶴崎 | 鶴崎おどり会 鶴保 | 昭56.3.31 | 記録保存の措置を講ずべきものとして選択 | |

エ 天然記念物

| 名称または物件 | 所在地 | 所有者または管理団体 | 指定年月日 | 摘 要 | 参 考 |
|------------|-----|------------|----------|-------------------|-----|
| 高島のピロウ自生地 | 高 島 | 大 分 県 | 昭30.5.27 | 3 株 | |
| 高島のウミネコ営巣地 | ” | ” | ” | 400羽程度 5月～8月中旬に営巣 | |

③ 市指定

ア 有形文化財

| | | | | | |
|-----------------------------|------------|---------|----------|--|----------------|
| 熊野権現縁起絵巻 | 津 守 | 熊野神社 | 昭49.1.9 | 松平忠直の遺品 全13巻(熊野神社) | 江戸時代 |
| 神 庫 | 寒 田 | 西寒多神社 | ” | 校倉造 応永15年(1408) 明治19年改修 (西寒多神社境内) | 室町時代 |
| 鳥 居 | 王 子 町 | 王 子 神 社 | ” | 寛政8年(1796) 2月建立(王子神社境内) | 江戸時代 |
| 刀 (大・小) | 府内町 | 個人所有 | ” | 毛利空桑所持刀 刀 長さ 89.5cm 脇差 長さ 59.0cm | 刀 室町時代 脇指 江戸時代 |
| 刀 | 歴史資料館 | 大 分 市 | ” | 表銘 豊府家土神丸盛利行年七十才作 裏銘 天保9年戊戌2月 日任望角幸安殿 天保9年(1838) | 江戸時代 |
| 円寿寺相伝文書及び大友資料 | 上野丘 | 円 寿 寺 | 昭51.8.24 | 開基道勇置文以下15件内 大友関係資料 1巻12通 | 鎌倉時代～室町時代 |
| 大般若経本附納函 | ” | ” | ” | 寛正4年(1463) 寄進 | 室町時代 |
| 御 城 下 絵 図 | 歴史資料館 | 大 分 市 | 昭56.8.1 | 府内藩主が府内城下から「浜の市」を見物に行く行列を中心に絵巻物仕立てで描いたもの | 江戸時代 |
| 十一面観音立像 | 国 分 | 国 分 寺 | ” | 桜材 寄木造 像高 106.2cm 藤原仏の特徴 | 平安時代後期 |
| 万寿寺石造国東塔 | 金 池 | 万 寿 寺 | 昭56.8.1 | 国東地方に発達した宝塔の一種 | 鎌倉時代 |
| 紙本著色隠元・木庵・即非三幅 対像附絹本淡彩蘆葉達磨図 | 田 室 | 長 福 寺 | 昭62.3.20 | 黄蘗宗三禅師肖像画と達磨図 寛文元年(1661)製作 | 江戸時代 |
| 波奈之丸屏風(厳島神社図) | 歴史資料館 | 個人所有 | 平2.7.16 | 御座船波奈之丸に置かれた屏風 | 江戸時代前期 |
| 熊本藩船鶴崎入港船絵馬 | 東 鶴 崎 | 劔 八 幡 社 | 平3.3.27 | 熊本藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [寛政10年(1798)] | 江戸時代 |
| 岡藩船三佐入港船絵馬 | 三 佐 | 野 坂 神 社 | ” | 岡藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [文化10年(1813)] | ” |
| 府内藩校遊焉館絵図 | 歴史資料館 | 弥 栄 神 社 | 平6.2.28 | 遊焉館の学習風景を描いた絵図 | 江戸時代末期 |
| 帆 足 本 家 酒 造 蔵 | 中 戸 次 | 大 分 市 | 平11.3.23 | 酒造過程のわかる木造建築物 | 明治～大正 |
| 脇 指 | 府内町 | 個人所有 | 平16.3.31 | 銘文 表 豊州藤原友行 裏 貞治七年三月日(1368) | 南北朝時代 |
| 刀 | 森 町 | 個人所有 | 平16.3.31 | 銘文 表 豊後国高田住次右衛門藤原統行 裏 明暦元年九月吉日(1655) | 江戸時代初期 |
| 刀 | 永 興 | 個人所有 | 平16.3.31 | 銘文 表 長谷部國重 相伝の名門の一派 [府内國重]とも呼ばれる | 室町時代後期 |
| 木造宝冠釈迦如来座像 | 太 田 | 個人所有 | 平17.3.31 | 桧材 寄木造 像高68.5cm | 南北朝時代 |
| 木造毘沙門天立像 | 恵 良 | 西 福 寺 | ” | 桧材 寄木造 像高65cm | 江戸時代前半 |
| 木造薬師三尊立像 | 本 町 | 福 城 寺 | ” | 桧材 一木彫成 | 室町時代前半 |
| 銅造観音菩薩立像 | 今 市 | 安 楽 寺 | ” | 銅製の像 像高26.2cm 懸仏 | 鎌倉時代後半 |
| 丸山八幡神社楼門 | ” | 丸山八幡神社 | ” | 享保5年(1720)入母屋造 3回修理 | 江戸時代 |
| 木造地藏菩薩立像(愛宕地蔵) | 本 神 崎 | 八 幡 神 社 | ” | 像高96.8cm、台高36.5cm、材質檜、寄木造、玉眼入りで 彩色が施されている | 江戸時代初期 |
| 大 平 文 書 | 歴史資料館 | 個人所有 | ” | 数少ない肥後細川藩領の地方文書 近世文書と近代文書に二分される | 江戸時代～明治時代 |
| 若 林 文 書・系 図 | 大分県立 先哲資料館 | 個人所有 | ” | 大友氏の水軍として活躍した若林家の文書。国立歴史 民俗博物館所蔵若林文書と兄弟文書である。 | 戦国時代 |
| 早吸日女神社石鳥居 | 佐 賀 関 | 早吸日女神社 | 平17.9.27 | 寛永17年(1640)6月の刻銘 熊本藩主細川忠利の寄進 | 江戸時代初期 |
| 早吸日女神社神楽殿 | ” | ” | ” | 文政10年(1827)以降、元の半分の規模で現在地に移築 大正4年改築切妻造本瓦葺 | 江戸時代後期 |
| 早吸日女神社拝殿 | ” | ” | ” | 宝暦13年(1763)6月細川重賢建立 嘉永3年(1850)改修 入母屋造本瓦葺 | 江戸時代中期 |
| 熊本藩船佐賀関入港船絵馬 | ” | ” | ” | 藩主が参勤交代時に座乗する御座船の図で、描写法や 画材などから江戸末期の作品 | 江戸時代末期 |
| 西 谷 橋 | 大 平 | 大 分 市 | ” | 文政7年(1824)甲申3月臼杵大野の石工、新左エ門・ 友蔵によって構築架橋 | 江戸時代後期 |
| 西福寺宝篋印塔 | 恵 良 | 西 福 寺 | 平17.3.31 | 宝篋印陀羅尼経を納めた供養塔 総高258.5cm | 室町時代 |
| 福城寺逆修石幢 | 本 町 | 福 城 寺 | ” | 大永6年(1526)の銘 | 戦国時代 |
| 福城寺宝塔 | ” | ” | ” | 総高244.5cm | 南北朝時代後半 |
| 山の川石造宝塔・宝篋印塔 | 入 蔵 | 個人所有 | ” | どちらも溶結凝灰岩製 | 室町時代前半 |
| 摺 石 幢 | 摺 | 個人所有 | ” | 総高226cm 八角形 | 戦国時代 |
| 原 村 石 幢 | 原 村 | 個人所有 | ” | 安山岩製 総高269cm | 室町時代後半 |
| 地 福 寺 宝 塔 | 福 宗 | 地 福 寺 | ” | 2基並立 向かって右184cm、左176cm | 室町時代中期 |
| 地 福 寺 石 幢 | ” | ” | ” | 明和8年(1771)の銘 凝灰岩製 | 江戸時代中期 |
| 永富家逆修碑(3基) | 新 町 | 個人所有 | ” | 生前に供養する供養石塔 慶長5年(1600)の銘 | 安土桃山時代末期 |
| 宝泉寺大乘妙典一字一石塔 | 竹 屋 | 個人所有 | ” | 総高215cm 享保12年(1727)の銘 | 江戸時代 |

文 化 財

| 名称または物件 | 所在地 | 所有者または管理団体 | 指定年月日 | 摘 要 | 参 考 |
|------------------------|----------------|---------------|-----------|---|---------------------|
| 霊山寺山門 | 岡 川 | 霊山寺 | 平19.8.12 | 木造・銅板葺・三間一戸二重門。禅宗様の特徴が表れている。古文書より寛永15年(1638)建築。 | 江戸時代 |
| 常楽寺文書 | 岡 川 | 常楽寺 | 平19.8.12 | 大友松野家系図・大友歴代の記載が豊富少式頼尚施行状写・毛利輝元書状写・政治状況 | 中世・近世 |
| 光西寺真宗関係資料 | 末広町 | 光西寺 | 平19.8.12 | 六字名号・親鸞聖人像・方便法身像・親鸞聖人絵伝 六字名号は蓮如真筆 | 室町・江戸時代 |
| 水分神社銅鉢 | 横 尾 | 水分神社 | 平20.12.4 | 完形品と残欠2個 精巧な錫上がりで埋納されていた 北部九州で鑄造 | 弥生時代中期末～ 弥生時代後期前 |
| 伝岩屋遺跡出土銅戈・石戈 | 歴史資料館 | 銅戈・大分市石戈・個人所有 | 〃 | 銅戈は、細形銅戈で我が国初期鑄造品 石戈は、遠賀川流域で製作された可能性 | 弥生時代中期 |
| 勝光寺華南三貼花文五耳壺 | 歴史資料館 | 勝光寺 | 平21.12.16 | 深い光沢のある緑色を基調とした優品 | 安土桃山時代 |
| 大分市内出土 青銅破鏡 | 歴史資料館埋蔵文化財センター | 大分市 | 〃 | 漢鏡 | 弥生時代後期～後期終末 |
| 原田家宝篋印塔 | 福 宗 | 個人所有 | 平22.12.17 | 総高147cm 安山岩製 四方仏の尊影を浮き彫りにしている。 | 室町時代 |
| 大分市内出土 青銅器 | 歴史資料館 | 大分市 | 〃 | 青銅製ヤリガンナ、小銅鐸 | 弥生時代中期～後期 |
| 「天長九年尼寺」 「尼寺」墨書土器3点 | 歴史資料館 | 大分市 | 平23.12.19 | 豊後国分寺西側より出土。国分尼寺の位置を推定する資料。 | 平安時代 |
| 伝名辺山谷出土銅矛 | 歴史資料館 | 大分市 | 平26.3.11 | 弥生中期末から後期初頭にかけて北部九州へ制作されたとされる中 広形銅矛。江戸時代に大分市木田の名辺山谷より出土したとされる。 | 弥生時代中期 |
| 木造釈迦如来坐像 | 永 興 | 臨濟寺 | 平27.7.3 | 江戸時代初期から中期にかけて活躍した、大坂の仏師宮内法橋の作と考えられる | 江戸時代中期 |
| 松栄神社所蔵絵図 | 歴史資料館 | 松栄神社 | 平27.12.25 | 府内城の櫓および府内藩の施設の姿を表した絵図および指図 | 江戸時代後期 |
| 合澤家所蔵文書 | 中 島 | 個人所有 | 平27.12.25 | 戦国時代に佐賀関一尺屋を拠点として活躍した若林水軍に関係する文書 | 室町時代～明治時代 |

イ 史跡

| | | | | | |
|-----------|-----|------|----------|--------------------------------|---------------------|
| 大友頼泰墓 | 岡 川 | 常楽寺 | 昭49.1.9 | 五輪塔 高さ176cm 大友氏三代 延享元年(1744)以降 | 江戸時代 |
| 丹生遺跡 | 丹 生 | 大分市 | 〃 | 昭和37年～42年にかけて、6次にわたって調査 | 旧石器時代 |
| 滝尾百穴横穴古墳群 | 羽 田 | 共有 | 〃 | 横穴古墳群 | 古墳時代後期 |
| 伽藍石仏 | 永 興 | 個人所有 | 〃 | 仏像の配列に特徴あり | 鎌倉時代～室町時代 |
| 府内城跡 | 荷揚町 | 大分市 | 平7.2.17 | 県指定部分を除く城地 | 江戸時代 |
| 佐藤家墓地五輪塔群 | 前 田 | 個人所有 | 平17.3.31 | 材質すべて角閃石安山岩 完形41基 | 戦国時代～江戸時代初期 |
| 鶴迫磨崖仏 | 太 田 | 地福寺 | 〃 | 地藏尊「火防(ひぶせ)の地藏さま」と呼ばれる | 安土桃山時代末期～ 江戸時代初期 |
| 鶴迫磨崖連碑 | 〃 | 個人所有 | 〃 | 15基の板碑型の碑 永禄2年(1559)の銘 | 室町時代末期 |

ウ 無形民俗文化財

| | | | | | |
|----------|-----|-----|----------|--------------------------------------|-------|
| 柞原太鼓 | 八 幡 | 保存会 | 昭54.6.14 | 柞原八幡宮の放生会「浜の市」に起源をもつ。 | |
| 深山流伊与床神楽 | 端 登 | 神楽社 | 平12.6.16 | 市内唯一の深山流の流れをもち、忠実に古様を伝えている。 | |
| 岡倉神楽 | 下 原 | 保存会 | 平18.3.7 | 勇壮な神楽であり、活発に活動している。また、伝承も計画的に行われている。 | 明治時代～ |
| 二目川百手まつり | 横 尾 | 保存会 | 平25.1.11 | 毎年1月20日開催。「的矢の儀」をよく継承している。 | 江戸時代～ |

エ 無形文化財

| | | | | | |
|-----------|-----|-------|-----------|---------------------------------|--|
| 廻栖野の竹細工技術 | 廻栖野 | 保持者2名 | 平23.12.19 | 長いヒゴを使用した、青物系の竹細工技術。大分県在来の古い技術。 | |
|-----------|-----|-------|-----------|---------------------------------|--|

オ 無形民俗文化財(選択)

| | | | | | |
|------|-----|-----|----------|--|--------|
| 羽田神楽 | 羽 田 | 大分社 | 平17.9.27 | 昭和45年創立と新しいが、庄内神楽の流れをくみ伝承に熱心に取り組んでいる(選択) | 昭和45年～ |
|------|-----|-----|----------|--|--------|

カ 有形民俗文化財

| | | | | | |
|------------|-----|--------|----------|-------------------------------------|--------------|
| 鯛網大漁光景図絵馬 | 佐賀関 | 早吸日女神社 | 平17.9.27 | 明治45年に奉納された漁撈絵馬で当時の鯛網漁の様子が詳細に描かれている | 明治時代 |
| 漁業図大絵馬 | 〃 | 〃 | 〃 | 明治35年に奉納された漁撈絵馬で珊瑚樹採取の船団を描写している | 明治時代 |
| 帆足本家酒造用具一式 | 中戸次 | 大分市 | 〃 | 多くの酒造用具が残され、それらは伝統的な民具で構成されている | 江戸時代末期～昭和47年 |

キ 天然記念物

| | | | | | |
|-------------------|-----|-------|---------|----------------------------------|--|
| オオイタサンショウウオおよび生息地 | 岡 川 | 霊山寺 | 昭49.1.9 | 希少種とされている (霊山寺境内) | |
| ヤマフジ | 寒 田 | 西寒多神社 | 〃 | 枝張り 東西約24m、南北約5mの範囲で広がる(西寒多神社境内) | |
| クスノキ | 下戸次 | 八幡神社 | 〃 | 高さ約20m 樹冠の広がり東西約33m南北45m(八幡社境内) | |
| 柞原八幡宮の森 | 八 幡 | 柞原八幡宮 | 平2.9.12 | 自然林の残存林 柞原八幡宮境内林 | |

3 大分市歴史資料館

大分市大字国分960番地の1
電話 549-0880
FAX 549-5766

(1) 運営方針

市内を中心とした考古、歴史、民俗の各分野にわたる資料を公開展示するとともに、企画展示、テーマ展示、各種の講座・講演会などを通して、広く市民が郷土の歴史を学ぶ場をめざしている。また、学校と連携して各教育課程に適応した歴史学習や体験活動のプログラムを充実させ、職員が学校に出向いて体験活動の指導を行う「出張歴史教室」を推進する。

更に、大友氏関係及び同時代の歴史資料の調査研究と収集を進め、郷土資料の保存・公開をはかり、大分の歴史に関する情報を積極的に発信する。

(2) 施設の概要

昭和62年4月 開館

敷地面積 4380.00㎡ 建築面積 1889.60㎡
延床面積 2576.92㎡ 展示室面積 690.75㎡

(3) 展 示

原始から近世までの通史的展示と民俗資料の常設展示をしている。各種の模型やイラスト、年表などを多用し、平易で立体的な展示を行っている。また、テーマ展示室を設け、テーマ毎に順次館蔵品等を公開している。

① 1階ホール

豊後国分寺七重塔復元模型（1/10）、市内の石仏案内。

② 常設展示室

第1展示室 大分のあけぼの、大分の君と古墳の時代、国分寺と律令の時代。

第2展示室 大友宗麟と中世、近世の府内。

民俗展示室 明治から昭和にかけての食卓風景を中心に、その時代に使われた生活道具をオープン展示。

③ テーマ展示室

常設展示以外の館蔵資料を中心に年3回テーマに沿って展示。

④ 子ども歴史学習コーナー及び自分史・家族史コーナー

子どもたちの調べ学習に利用できる歴史・郷土史の本を設置。さらに、自分史・家族史の展示コーナーを設置。

⑤ 豊後国分寺跡の散策

七重塔跡・金堂跡の礎石や、整備された講堂・食堂・回廊・中門跡をめぐり、奈良時代を迫体験

しながらの散策が楽しめる。

(4) 企 画 展（平成28年度）

① 第35回特別展

「ほとけの王国 ー大分の仏像ー」

会期 10月21日（金）～11月27日（日）

（開館日数：32日）

内容 6世紀半ばの仏教公伝以降、人々はさまざまな祈りをこめて仏教を信仰してきた。その祈りの対象としての仏の姿は、仏教の多様な教えが広まるにつれ、さまざまなかたちで表現されるようになった。

本展示では、仏教の伝来から現在にいたる長い年月の中で人々の祈りや願いを反映した仏の姿を郷土大分に伝わる仏像を中心に紹介する。



木造普賢延命菩薩坐像
（大山寺）

② テーマ展示（平成28年度）

第1回「ハレの日の酒」

会期 4月30日（土）～6月26日（日）

内容 成人の祝い、結婚、葬式、盆、正月など日常生活と異なる特別な日を「ハレ」と言い、この日には人々が集まり、日頃とは違う御馳走を食べ、酒を酌み交わした。多様な酒造道具や酒器、版本や絵画資料などを交えながらハレの日の酒を紹介する。

第2回「いにしえの美 館蔵古美術」

会期 7月23日（土）～9月25日（日）

内容 資料館は開館してから、これまでさまざまな資料を収集し、企画展などを通して、郷土の歴史とともにそれらの資料を紹介してきた。こうした資料の中には、美的に優れた古美術品と呼ばれるようなものも多くある。それらの資料がもつ美的造詣や価値、歴史的背景について紹介する。

第3回「THE 府内古図 中世豊後府内のまち」

会期 1月28日（土）～4月3日（月）

内容 戦国時代の豊後府内町の様子を現在に伝える資料に「府内古図」と呼ばれる三種類に分類される絵図がある。各絵図に描かれている内容を比較し、豊後府内の町の様子と形成過程について紹介する。

③ まちかど歴史展示館

大分の歴史や民俗・文化財を紹介する移動展示を行う。今年度も中学校を中心に各地を巡回して、大友宗麟公に関連したパネルや資料等を展示する。

歴史資料館

(5) 各種講座（平成28年度）

| 講座名 | 期間（開催日時） | 定員 | 内 容 | 備考 |
|---------------------------|--|------|--|----|
| ふるさとの歴史再発見 ・考古のコース | 4月～6月 計5回 | 70名 | 大分県内の発掘調査にかかわる報告 | 有料 |
| ふるさとの歴史再発見 ・歴史のコース | 7月～9月 計5回 | 70名 | 郷土大分の歴史と人物について | 有料 |
| ふるさとの歴史再発見 ・民俗・文化史のコース | 11月～12月 計4回 | 70名 | 大分の民俗と文化について | 有料 |
| ふるさとの歴史再発見 ・古文書のコース | 1月～3月 計5回 | 70名 | 中・近世文書の解説 | 有料 |
| ふれあい歴史体験講座 （親子と一般） | 原則毎月第1・3土曜日 午前9時30分～と 午後2時～の2回 | 各70名 | 管玉丸玉作り/土笛作り/勾玉作り/粘土埴輪作り/和紙作り/土偶作り/土の鈴作り/かご編み/土面作り/折り紙雛作り/織り物 | 有料 |
| | | | 七夕飾り | 無料 |
| 昔のおもちゃで遊ぼう （親子と一般） | 5月5日（木）こどもの日 午前9時～午後4時 | なし | 資料館隣の広い史跡公園で、手作りのおもちゃ（竹馬、コマ、お手玉等）で遊ぶ | 無料 |
| 勾玉作り教室 （親子と一般） | 7月30日（土） 11月19日（土） 午前9時～午後1時～ | なし | 事前申し込み不要で、好きな時間に勾玉作りを体験する | 有料 |
| 夏休みジュニア歴史探険 （小4～中学生） | 8月5日（金） 午前9時30分～午後3時30分 | 30名 | 小中学生を対象に、史跡をめぐる歴史探険などの活動を実施する | 有料 |
| 歴史教育研修 （小中学校教職員対象） | 6月23日（木） 午後2時～4時 7月29日（金）、8月9日（火） 12月26日（月） 午前9時～12時 | 応募 | 館内見学/体験活動実践講習 講義（市内指定文化財） 現地学習など | 無料 |
| 展示解説講座 | 開催期間中頃の日曜日 午後2時～ | 各70名 | 展示品を解説し、会場を案内する テーマ展・特別展ごとに各1回開催 | 無料 |

(6) 利用状況

① 利用者数

| 年度 | 入館者 | | 講座室等利用者 | | 合計 |
|--------|--------|--------|---------|--------|--------|
| | 大人 | 小中高生 | 大人 | 小中高生 | |
| 平成23年度 | 7,181 | 11,437 | 8,268 | 14,954 | 41,840 |
| 平成24年度 | 7,196 | 14,010 | 7,138 | 14,681 | 43,025 |
| 平成25年度 | 7,346 | 14,230 | 8,731 | 15,351 | 45,658 |
| 平成26年度 | 9,105 | 14,355 | 8,309 | 13,946 | 45,715 |
| 平成27年度 | 10,148 | 11,198 | 9,832 | 14,682 | 45,860 |

② 利用状況（平成27年度）

| 区分 | 観覧者 | | 講座室利用者 | | 移動講座 | 合計 |
|-----|-------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 個人 | 団体 | 一般 | 講座・体験 | | |
| 大人 | 5,687 | 4,461 | 3,548 | 4,352 | 1,932 | 19,980 |
| 中高生 | 101 | 490 | 981 | 10,106 | 3,595 | 25,880 |
| 小学生 | 980 | 9,627 | | | | |
| 合計 | 6,768 | 14,578 | 4,529 | 14,458 | 5,527 | 45,860 |

③ 各種講座参加者数（平成27年度）

| 講座名 | 延回数 | 参加者数 |
|------------|------------|---------|
| ふるさとの歴史再発見 | 考古のコース | 5回 278人 |
| | 歴史のコース | 6回 263人 |
| | 民俗・文化史のコース | 4回 127人 |
| | 古文書のコース | 5回 270人 |
| ふれあい歴史体験講座 | 19回 | 1,220人 |
| 昔のおもちゃで遊ぼう | 1回 | 279人 |
| 勾玉作り教室 | 4回 | 534人 |
| ジュニア歴史探険 | 1回 | 43人 |
| 展示解説講座 | 4回 | 136人 |
| 合計 | 48回 | 3,150人 |

④ 企画展入館者数（平成27年度）

| 名 称 | 期 間 | 入館者数 |
|---|------------------------------------|---------|
| 第34回特別展 「日本犬聞録 -イヌと人の歴史-」 | 10月23日（金）～11月23日（月） （開館日数 28日間） | 5,963人 |
| 記念講演 「日本人とイヌのながいつきあい -日本史のなかのイヌ-」 | 11月8日（日） | 59人 |
| テーマ展示Ⅰ 「郷土の宝箱 収蔵指定文化財」 | 4月18日（土）～6月28日（日） （開館日数 61日間） | 2,993人 |
| テーマ展示Ⅱ 「戦時下の暮らしと戦後復興」 | 7月18日（土）～9月27日（日） （開館日数 62日間） | 3,585人 |
| テーマ展示Ⅲ 「中世豊後府内の職人たち」 | 1月16日（土）～4月3日（日） （開館日数 67日間） | 3,592人 |
| まちかど歴史展示館 | 4月25日（土）～28年3月18日（金） 市内18か所に設置 | 14,485人 |

(7) 調査研究（平成27年度）

- ① 平成27年度（第34回）特別展調査
平成27年度の特別展「日本犬聞録 -イヌと人の歴史-」の予備調査を大阪府文化財センター、たつの市立龍野歴史文化資料館などで行った。
- ② 平成28年度（第35回）特別展調査
平成28年度の特別展「ほとけの王国 大分の仏像」の予備調査を東京芸術大学、奈良県杵築神社などで行った。
- ③ 平成29年度（第36回）特別展調査
平成29年度の特別展「よみがえる大友館（仮）」の予備調査を国立公文書館、東京大学史料編纂室などで行った。
- ④ 市内、県内の考古・歴史・民俗資料調査
資料館に寄せられる情報をもとに、資料の収集と記録保存を目的とした調査を随時行った。

(8) 資料収集（平成27年度）

展示・保存・研究のため、寄贈・寄託・購入等の方法で、資料の収集につとめている。平成27年度の主な収集資料は以下のとおりである。

- ① 購入資料
 - ・華南三彩鳥形水注 1点
 - ・『貞丈雑記』 32冊
 - ・華南三彩刻花文水注 1点
 - ・御當家御軍役書 1冊
- ② 寄贈資料
 - ・軍票や軍隊手帳など戦争関係資料 11件
 - ・足踏み脱穀機や庚申講の掛け軸など歴史・民俗資料 16件

(9) 刊行物（平成27年度）

- ① 資料館ニュース NO.109～111号
- ② 平成27年度（第34回）特別展図録・ポスター・チラシ
- ③ 平成28年度 大分市歴史資料館総合案内

(10) 利用案内

- 開館時間 午前9：00～午後5：00
（入館は午後4：30まで）
- 休 館 日 毎週月曜日（祝日の場合は開館）
ただし、毎月第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館（祝日の場合は開館）
祝日の翌日（土・日曜の場合は開館）
年末年始（12月28日～1月4日）
- 観 覧 料 大 人 200円（団体150円）
高 校 生 100円（団体50円）
中学生以下 無料
- * 団体は20名以上
* 特別展開催中は別料金になることがある
- 講 座 室 第1講座室 1時間 150円
第2講座室 1時間 100円
- * 一室として利用することも可
* 冷暖房を使用する場合は4割増しとする
- 交通機関
J R久大本線 豊後国分駅下車 徒歩2分

4 大分市美術館

所在地 大分市大字上野865番地

電話 554-5800

FAX 554-5811



(1) 運営方針

大分市美術館は、緑豊かな上野丘子どものもり公園内に位置し、「たのしんで・みて・まなぶ美術館」として、だれもが気軽に美術を楽しめる場と機会を提供している。年間を通じて所蔵の美術品が鑑賞できるコレクション展（常設展）やさまざまな分野の優れた美術を紹介する特別展の開催、各種講座・講演会の開催など、子どもから大人まで幅広く楽しめる生涯学習施設としての美術館運営をめざしている。

また、特色ある地域の美術文化情報を広く発信するとともに、開かれた美術館として市民との協働による運営を推進する。

(2) 施設の概要

| | |
|---------|--------------------------------|
| 平成11年2月 | 開館 |
| 敷地面積 | 129,837㎡（公園全体） |
| 建築面積 | 6,570.65㎡ |
| 延床面積 | 9,036.48㎡ |
| 展示室面積 | 2,097.81㎡ |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨 鉄筋コンクリート造2階建 |

(3) 収集方針

- ① 豊後南面をはじめ、大分市にゆかりのある作家の優れた作品
- ② 美術史的展望に立ち、近・現代を中心とした芸術的に価値のある内外の作品
- ③ 将来方向として重視される環太平洋地域の美術についての作品
- ④ 歴史的文化遺産として貴重な美術資料

(4) コレクション展（常設展）（平成28年度）

展示室1～4では、コレクションを中心とした企画により、年間4回（展示室2は6回）の展示を行う。

展示室1 福田平八郎や高山辰雄など、近代・現代の日本画を中心に紹介する。

展示室2 近世の絵画や田能村竹田、帆足杏雨などの豊後南画等を紹介する。

展示室3 佐藤敬など、近代・現代の洋画等を紹介する。

展示室4 生野祥雲斎の竹工芸作品を中心に紹介する。

展示室1～4 [サマー企画] アート・ワンダーランド2016を開催し、全室共通のテーマのもとに所蔵作品を紹介する。



展示室1

| 会 期 | 展示室 1 | 展示室 2 | 展示室 3 | 展示室 4 |
|-------------------------------|--------------------------------------|---|------------------------------------|----------------------------|
| 平成28年 4月1日(金) ～4月10日(日) | 大分の南画・日本画・ 版画 大正から昭和前期を 中心に | 田能村竹田を慕う | 秋山庄太郎 冬から夏へ 《花逍遥—366日》 より | 工芸の新しい感性 —河合誓徳と 生野徳三 |
| 4月12日(火) ～7月10日(日) | 黒色の魅力 | 平野五岳 ～5月29日(日) 5月31日(火)～ 絵画の中の物語 | 片多徳郎と権藤種男 | 竹工芸—素材として の力 |
| 7月12日(火) ～9月25日(日) | [サマー企画] アート・ワンダーランド2016 わくてく美術館 | | | |
| 9月27日(火) ～29年1月9日(月) | 生誕110年 佐藤敬展 | 帆足杏雨 ～11月13日(日) 11月15日(火)～ 江戸時代の旅と絵画 | 生誕110年 佐藤敬展 | 竹工芸—線の造形美 |
| 29年 1月11日(水) ～4月9日(日) | 風景画の魅力 岩澤重夫・箱崎睦昌 を中心に | 酉年の祝い ～2月19日(日) 2月21日(火)～ 田能村竹田と首藤郊 | 60年代の若き大分の 作家たち | 景色を想う |

(5) 特別展 (平成28年度)

| 展 覧 会 名 | 会期・開館日数 | 内 容 |
|-------------------------------------|--|---|
| 大分のアートシーン CIAO! “進世代の胎動” | 4月14日(木)～ 5月8日(日) 23日間 | 大分のアートシーンに刺激を与え、魅力ある活動を展開する若手アーティストの絵画、彫刻、インスタレーションなどを紹介する展覧会。 |
| 画業20周年 片岡鶴太郎展 還暦紅 | 5月13日(金)～ 7月3日(日) 46日間 | 片岡鶴太郎(1954～)は、俳優・タレントとして、様々なメディアで活躍を続ける一方で、墨彩画や陶芸、書等、様々な作品の制作に取り組み、全国各地で展覧会を開催する芸術家でもある。本展では、絵画、着物絵付け、陶器等約130点を展示して、片岡鶴太郎の20年間の画業の全容を紹介する。 |
| チームラボアイランド 踊る!美術館と、 学ぶ!未来の遊園地 | 7月15日(金)～ 9月25日(日) 71日間 | チームラボは、情報社会において、サイエンス・テクノロジー・アートなどの境界を曖昧にしながら『実験と革新』をテーマにものを創る、ウルトラテクノロジスト集団。本展は、チームラボの最新のデジタルアートとともに、子どもたちが自由に体を動かして、アートを体験できる仕掛けを豊富にとり入れた、大人から子どもまで楽しめる新感覚の展覧会。 |
| ミュシャ展 | 10月8日(土)～ 12月4日(日) 51日間 | アール・ヌーヴォーを代表するアルフォンス・ミュシャ(1860～1939)の出世作《ジスモンダ》(1895年)をはじめ、ポスター、装飾パネル、デザイン集から切手、紙幣などの作品群によりミュシャ芸術の魅力を紹介する展覧会。 |
| 第65回高文連 美術・書道・写真 中央展 | 12月8日(木)～ 12月18日(日) 8日間 | 大分県内高等学校(公立・私立)で学ぶ生徒たちが制作した作品(美術・書道・写真)を紹介する展覧会。 |
| 第68回 大分県立芸術緑丘高等学校 美術制作展 | 12月20日(火)～ 12月25日(日) 6日間 | 県内で唯一の美術専門コースである大分県立芸術緑丘高等学校美術科で学ぶ生徒が制作した作品を紹介する展覧会。 |
| 郷土在住作家X 鈴木忠実展 高木岩義展 | 29年 1月11日(水)～ 29日(日)17日間 2月2日(木)～ 19日(日)17日間 | 「郷土在住作家展」の第10弾。 元新興美術院常任理事の日本画家・鈴木忠実(1935年生、大分市出身・在住)と行動美術協会会員の洋画家・高木岩義(1939年生、臼杵市出身・大分市在住)をそれぞれ紹介する展覧会。 |
| 第51回 大分市美術展 | 3月3日(金)～ 3月26日(日) 22日間 | 日本画、洋画・版画、彫刻、工芸、デザイン、書、写真の7部門の作品を公募して紹介する展覧会。 |

大分市美術館

(6) 各種講座・講演会（平成28年度）

講演会

| 講座名 | 期日・期間 | 定員 | 内容 |
|---------------|----------|------|-------------|
| CIAO!“進世代”の胎動 | 4月24日（日） | 100名 | アーティストフォーラム |
| 片岡鶴太郎展 サイン会 | 5月13日（金） | 120名 | 作家サイン会 |
| 鈴木忠実展作家トーク | 1月21日（土） | 80名 | 作家講演会 |
| 高木岩義展作家トーク | 2月11日（土） | 80名 | 作家講演会 |

芸術・文化講座

| 講座名 | 期日・期間 | 定員 | 内容 |
|-------------------------------|---|--------|-----------------------|
| ライブペインティング鑑賞と筆ペンで象書体験 | 6月4日（土） | 15名 | 講師による公開制作と象書を用いた作品づくり |
| ワイヤークラフト「曲線美の世界－身近な植物をモチーフに－」 | 10月22日（土） | 15名 | ワイヤークラフト |
| 多肉植物のクリスマスツリー | 12月3日（土） | 15名 | 植物を使った小さなクリスマスツリーづくり |
| アートカレッジ 「大分市美術館を楽しむ」 | 6月2日、7月7日、8月4日、9月1日、10月6日、11月3日 全て（第1木） | 80名×6回 | 美術に関する講義と展覧会解説受講 |

子どものための講座

| 講座名 | 期日・期間 | 定員 | 内容 |
|-----------------------|----------------------------------|-----------|------------------|
| ゴールデンウィーク美術教室 | 4月29日（金）、4月30日（土） | 40名×2回 | コロコロぴかぴか☆どろだんご |
| 夏の美術教室 | 6月11日（土）、18日（土） | 40名×2回 | ハッピーアンブレラ |
| 夏の子ども講座 （12日、計20回） | 7月16日（土）、17日（日） 23日（土）、24日（日） | 40名×2回×4日 | 風の声聞く ウインドベル |
| | 7月28日（木）、29日（金） | 40名×2回×2日 | けしごむハンコで作るてぬぐい |
| | 8月4日（木）、5日（金） | 40名×1回×2日 | はりこの犬 |
| | 8月11日（木）、12日（金） | 40名×2回×2日 | マイ・ロボット |
| 9月10日（土）、11日（日） | 40名×2回×2日 | 大切な人への贈り物 | |
| 秋の美術教室 | 11月19日（土） | 40名 | ステンドアート |
| 冬の美術教室 | 12月17日（土） | 40名 | きらきらランプ |
| ちびっこ工作ルーム | 9～3月第1金曜日 | 25名×1回×7日 | ボランティアによるワークショップ |
| 美術館出前教室 | 随時 6回 | | 市内小中学校対象（40名×6回） |

市民との協働講座等

| 講座名 | 期日・期間 | 定員 | 内容 |
|-----------------------|--------------------------------------|-----------|---------------------|
| 美術館ボランティア研修講座 | 年5回 | 95名×5回 | 美術館で活動しているボランティアの研修 |
| 美術館ボランティア養成講座 | 年6回 | 20名×6回 | 美術館で活動する新規ボランティアの研修 |
| 美術館で音楽会 | 9月3日・10日・17日・ 10月15日・29日 全て土曜日 | 80名×2回×5日 | 応募者による演奏会 |
| 「ギャラリートーク」 | 毎週土曜日 | — | ボランティアによるコレクション展案内 |
| 「第1月曜日は 美術館で楽しもう！」 | 4月～2月（1、3月除く） の第1月曜日 | — | ボランティアによるワークショップ |
| 出張講演 | 随時 | — | 外部の市民団体等からの依頼による講演 |

(7) 美術館ボランティア

概 略

美術館ボランティアは、大分市美術館の教育普及活動の諸事業に係わりながら個々の芸術・美術に関する教養を高めると共に、市民文化の発展に寄与することを目的とする。

① 活動

美術関係資料の収集整理、所蔵作品の解説、ワークショップの実施、その他展覧会諸事業への協力など。



ワークショップを行うボランティア

② 研修

大分市美術館美術振興課職員による所蔵作品関連の研修、展覧会レクチャーなど。

(8) 調査研究

① 美術作品等の調査研究

大分ゆかりの作家、日本及び諸外国の近現代芸術、歴史的文化遺産など大分市美術館の収集方針に沿った美術作品及び関連する美術作品、資料等の調査、研究を行う。

② 展示、保存に関する調査研究

特別展、常設展でより効果的に展示する技術、方法や所蔵作品のより安全な保管技術、方法について調査、研究を行う。

③ 教育普及活動に関する調査研究

(9) 利用状況（平成27年度）

1. 観覧者

① 総観覧者

| 区分 | 常設展 | 特別展 | 計 |
|------|-------------|-------------|--------------|
| 一 般 | 38,904 人 | 83,290 人 | 122,194 人 |
| 高・大生 | 2,583 | 4,328 | 6,911 |
| 小・中生 | 19,509 | 19,365 | 38,874 |
| 計 | 60,996 | 106,983 | 167,979 |

② 特別展観覧者

| 展 覧 会 名 | 期 間 | 観覧者 |
|------------------------------------|---------------------|------------|
| 大分発アヴァンギャルド芸術都市の水脈～田能村竹田からネオ・ダダまで～ | 平成27年4月16日 ～7月5日 | 4,752 人 |
| 水戸岡鋭治デザインワンダーランド 駅弁からななつ星まで | 7月11日 ～9月27日 | 57,848 |
| エコール・ド・パリ パリに咲いた異邦人の夢 | 10月3日 ～11月8日 | 5,355 |
| 郷土在住作家展Ⅸ 利光敏郎展・石川賢展 | 11月14日 ～12月6日 | 2,495 |
| 第64回高文連 美術・書道・写真 中央展 | 12月10日 ～12月20日 | 1,923 |
| 第67回大分県立芸術緑丘 高等学校美術制作展 | 12月22日 ～12月27日 | 1,586 |
| 篠山紀信 写真力 | 平成28年1月8日 ～2月21日 | 27,082 |
| 第50回記念 大分市美術展 | 3月4日 ～3月27日 | 5,942 |
| 計 | 278日 | 106,983 |

2. 研修室

| 利 用 件 数 | 利 用 者 数 |
|---------|---------|
| 111 件 | 5,587 人 |

(10) 利用案内

- 開館時間 午前10:00～午後6:00（入館は午後5:30まで）
- 休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）
 ※第1月曜日は開館し、翌日の火曜日が休館（ただし、特別展会期中の火曜日は開館します。）
- 年未年始（12月28日～1月4日）
- 観覧料 コレクション展（常設展）
 一般 300円（団体250円）
 高・大学生 200円（団体150円）
 小・中学生 無料
 障がい者（身体障害者手帳等提示）全額減免
 ※団体は20名以上
- 特別展
 その都度決定（コレクション展（常設展）と共通）
- 研修室 使用料 1時間 1,080円
 ※冷暖房を使用する場合は4割増しとする。
- 交通機関
- バス 大分バス「大分駅上野の森口」乗り場から「大分市美術館」行き約7分。
- タクシー JR大分駅上野の森口（南口）から約5分。
- 車 大分自動車道／大分ICから約10分。



「遊星散歩（安藤 泉作）」

5 アートプラザ

所在地 大分市荷揚町3番31号
 電話 538-5000
 FAX 538-5060



(1) 運営方針

ゆとりと豊かさあふれる生涯学習社会をめざし、新しい文化の創造と発信が積極的に行われる場として、気軽に利用できるよう市民サービスにつとめる。

また、大分市出身の世界的建築家磯崎新氏建築作品の模型や資料の展示を行い、建築理念や思想などを広く紹介する。

(2) 施設の概要

① 沿革

- 昭和41年（1966）5月 大分県立大分図書館（磯崎新氏設計）として竣工
- 昭和43年（1968）4月 建築年鑑賞受賞
- 平成6年（1994）8月 大分県立大分図書館新築移転のため閉館
- 平成7年（1995）4月 大分市が無償貸与を受ける
- 平成10年（1998）2月 アートプラザ開館
- 平成19年（2007）4月 指定管理者制度を導入

② 概要

- 敷地面積 3,686.7㎡
- 建築面積 1,599.94㎡
- 延床面積 4,081.55㎡
- 構造 鉄筋コンクリート造
- 地下1階地上3階

(3) 指定管理者制度の導入

- ① 目的
民間事業者の有するノウハウを活用し、市民サービスの向上と行政コストの縮減、及び新たな雇用の創出による地域の振興を図る。
- ② 指定管理者
アートプラザ共同事業体
- ③ 指定期間
平成28年4月1日～平成31年3月31日

(4) 事業内容

本館の業務は、貸館業務と常設展示業務に分けられる。

① 貸館業務

ア 施設の用途

- (ア) アートホール（2F）
文化・芸術関係団体の展示会場として、また、各種文化講演会や催事の会場として利用できる。
- (イ) ギャラリーA・B（1F）
主として個人やグループによる絵画・書・写真などの創作活動の発表の場として利用できる。
- (ウ) 研修室（2F）
芸術・文化に関する会議や研修会や講座などに利用できる。
- (エ) 実技室（2F）
比較的大きなプレス機を設置して各種版画ができるように準備している。その他多様な芸術活動にも対応できる。

イ 施設紹介

| | 面積 | 展示壁面 | 天井高 | 収容人員 |
|--------|------|------|-------|------|
| アートホール | 427㎡ | 116m | 5.14m | 250名 |
| ギャラリーA | 236㎡ | 78m | 2.85m | |
| ギャラリーB | 102㎡ | 46m | 2.85m | |
| 研修室 | 79㎡ | | 4.66m | 70名 |
| 実技室 | 77㎡ | | 4.66m | 20名 |

- ・ギャラリーA・Bを同時使用することもできる。
- ・実技室には1.8m×0.9mの作業台が6台あり、水道も設置している。

② 常設展示業務

ア 磯崎新建築模型展示業務（3F及び2F 60'sホール）

磯崎新氏が設計した建築物の精密な模型や資料などを、随時展示替えを行いながら常設展示する。

イ 現代美術作品常設展示業務（2F 60'sホール）
1960年代前半に活動した前衛芸術家グループ

「ネオ・ダダ」を中心とする現代美術の所蔵作品を、随時展示替えを行いながら常設展示する。

ウ 施設紹介及び展示内容

(ア) 磯崎新建築展示室・60'sホール

展示室は、面積12㎡から111㎡の9つの部屋に分かれており、主要建築模型は60'sホールの一部も使用し展示している。



展示室2



60'sホール

アートプラザ

(5) 利用案内

① 開館時間

午前9時から午後10時まで（ただし3階磯崎新建築展示室は午後6時まで）

② 開館日

年末年始（12月28日～1月3日）を除く全日

③ 使用料

| | 4月・5月・10月・11月料金 | 冷暖房 期間中料金 |
|---------------|------------------|--------------|
| アートホール(427㎡) | 1日(9時～22時)9,770円 | 13,670円 |
| | 1時間 1,180円 | 1,650円 |
| 研修室 (79㎡) | 1時間 710円 | 990円 |
| 実技室 (77㎡) | 1時間 210円 | 290円 |
| 市民ギャラリー(338㎡) | 1日(9時～22時)7,710円 | 10,790円 |
| A室(236㎡) | 1日(9時～22時)5,400円 | 7,560円 |
| B室(102㎡) | 1日(9時～22時)2,310円 | 3,230円 |

| | |
|----------|------|
| 磯崎新建築展示室 | 観覧無料 |
|----------|------|

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|

■の部分 は 冷暖房期間です。

④ 受付方法

- ・使用日の属する月6ヶ月前から、受付を行う。
ただし、芸術・文化活動以外の会議や研修などは3ヶ月前から受付を行う。
また、5日以上連続して行う展覧会については、12ヶ月前から受付を行う。
- ・受付、空き情報の問い合わせは、年末年始の休館日を除く日の午前9時から午後6時まで。
- ・電話等による仮押さえは不可。
- ・使用料は、使用許可の際に納入。

(6) 利用状況

（平成27年度）

| 項目 | 市民ギャラリーA | 市民ギャラリーB | アートホール | 実技室 | 研修室 |
|--------|----------|----------|--------|-----|-----|
| 利用日数 | 287 | 335 | 316 | 325 | 310 |
| 利用率(%) | 80 | 93 | 88 | 91 | 86 |